

平成27年度地域包括支援センター活動実績について 【介護予防事業】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

資料3-2

1 健康づくり教室

(1) 新規教室実施状況

センター名	実施回数	会場	従事者(人)			参加者(人)		1回の平均参加人数(人)	1人の平均参加回数(回)	アンケート結果		平成28年度の方向性 (平成27年度末時点)	計画数値(回)	達成率
			実	延べ	1回平均	実	延べ			主観的健康観が「よい」「まあよい」「ふつう」	生活機能が維持または向上			
あさひ	12	旭町会館	5	46	3.8	21	133	11.1	6.3	84.6%	61.5%	継続して開催支援	24	100.0%
	12	入舟町会館	4	44	3.7	17	140	11.7	8.2	76.9%	100.0%	継続して開催支援		
こん	22	終末処理場会館	7	56	2.5	27	385	17.5	14.3	100.0%	60.0%	継続して開催支援	36	97.2%
	13	新川町会館	3	44	3.4	39	310	23.8	7.9	93.8%	50.0%	継続して開催支援		
厚生院	12	空港団地町会館	5	39	3.3	37	289	24.1	7.8	/	/	継続して開催支援	36	100.0%
	12	百寿会館	7	36	3.0	18	179	14.9	9.9	/	/	継続して開催支援		
	12	香雪自治会館	6	35	2.9	33	259	21.6	7.8	/	/	教室メンバーと相談し検討		
西堀	18	西堀病院	7	39	2.2	17	269	14.9	15.8	93.3%	73.3%	終了	48	100.0%
	18	美原商店街振興会館	3	38	2.1	16	184	10.2	11.5	90.0%	40.0%	自主活動グループへ移行		
	12	コープさっぽろいしかわ文化教室	3	28	2.3	14	141	11.8	10.1	90.9%	45.5%	終了		
よろこび	12	小規模多機能型居宅介護事業所わとな	5	24	2.0	11	59	4.9	5.4	100.0%	50.0%	終了	24	100.0%
	12	港町会館	4	24	2.0	9	68	5.7	7.6	83.3%	66.7%	終了		
社協	12	柏野会館	4	29	2.4	26	175	14.6	6.7	100.0%	90.9%	自主活動グループへ移行	24	100%
	12	南茅部総合センター	4	29	2.4	25	137	11.4	5.5	100.0%	100.0%	平成28年度に安浦〜大船を対象に開催するため、継続参加を促し、次年度に自主化する予定		
	191		67	511	2.7	310	2,728	14.3	8.8	92.1%	67.1%		192	99.5%

*「厚生院」の3教室については、報告書の提出時点ではアンケート未実施のため斜線。

(2) 継続教室実施状況

センター名	実施年数	会場	平成28年度の方向性 (平成27年度末時点)
あさひ	2年目	末広町会館	継続して開催支援
	2年目	特別養護老人ホーム「松濤」	継続して開催支援
	3年目	弥生小学校	継続して開催支援
	3年目	女性センター	継続して開催支援
	4年目	東川町会館	継続して開催支援
こん	2年目	上新川町会館	継続して開催支援
	2年目	柳町団地	自主活動グループへ移行(平成27年度途中より)
	4年目	梁川町会館	自主活動グループへ移行
	5年目	千代台町会館	自主活動グループへ移行(平成27年度途中より)
	7年目	救護施設明和園	継続して開催支援
厚生院	2年目	旭岡団地2丁目集会所	終了
	2年目	川原町団地集会所	自主活動グループへ移行
	3年目	ホテル湯の川	継続して開催支援(H28途中より自主活動へ移行)
社協	2年目	社協戸井支所	自主活動グループへ移行(平成27年度途中より)
	2年目	恵山コミュニティセンター	自主活動グループへ移行

・「西堀」の美原商店街振興会館は、他と比べ生活機能が維持または向上の割合が低い。主に運動能力について低下していた。「西堀」では、参加者は後期高齢者が多く、体力測定では大きな変化は見られないが、本人の身体機能低下の自覚が影響していると考察している。その他、コープさっぽろいしかわ文化教室についても、後期高齢者が多く、身体機能の維持が難しく、運動などの取り組みを継続することが必要であると考察をしている。

・新規教室は14教室中8教室が継続または自主活動グループへ移行の予定。継続教室についても、15教室中6教室が自主活動グループへ移行できている。自主化に向けた働きかけが促されているのがうかがえる。

・「あさひ」は継続教室が多く残っている。保健師数が多いため、業務量としては可能とのことだが、自主化を目標とした教室であり、地域づくりの観点からは、継続教室を多く抱えていることは課題と考える。

*「西堀」、「よろこび」は実施なし。

(参考) 自主活動グループ

センター名	新規教室 開始年度	会 場	センター名	新規教室 開始年度	会 場	
あさひ	H22	宝来町会館	西 堀	H22	石川町会館	
	H23	船見第一町会館		H23	本通中央町会館	
こ ん	H20	乃木町会館※		H23	本通町会館	
	H24	柏木町会館		H24	昭和町会館	
	H26	教育大函館校(八幡町)		H25	東富岡町会館	
厚生院	H21	湯川1丁目町会		よろこび	H26	東山見晴団地町会館
	H22	根崎生活館(高松町親交会)			H23	追分町会館
	H23	湯川3丁目町会館			H24	桔梗町会館
	H23	花園町団地4号棟(花園町団地)		社 協	H25	北浜町会館
	H24	ポリテクセンター(日吉北団地町会)			H24	中浜会館
	H25	日吉3丁目団地集会				
	H25	湯浜町会館				
	H26	深掘町会館				

※センター独自事業として開始

2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	広報紙・パンフレットの 配布	出前講座・講師派遣
あさひ	1	4
こ ん	4	10
厚生院	3	8
西 堀	1	0
よろこび	1	1
社 協	6	11
合 計	16	34

・介護予防に関する広報・啓発活動については、「西堀」「よろこび」の実施回数が少ない。「西堀」については、介護保険制度等の出前講座の際には、介護保険を利用しなくすむようこと、介護予防に関しても関連づけて啓発しているとのこと。集計数には計上されていないが、取り組みはされている。「よろこび」についても、広報紙への掲載等で介護予防に関連した啓発はされている。

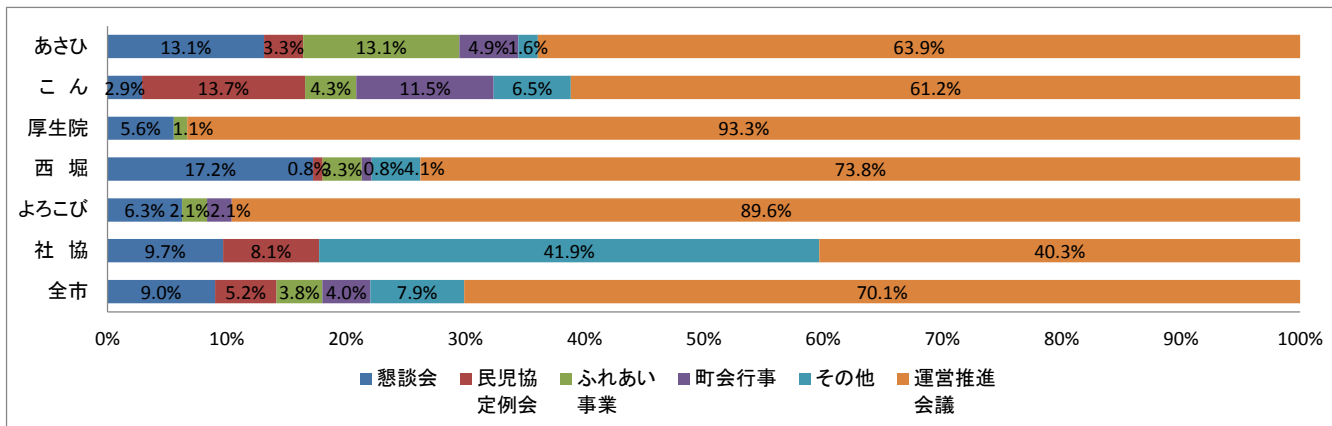
・平成27年度に取り組んだ地域診断において、「要介護認定率が高く、今後も増加が推測される。」という課題があり、生活習慣病や筋・骨疾患の保有が多いことが分かっていることから、今後は広報・啓発も強化していくことも必要。

【包括的支援事業】総合相談支援業務

1 地域包括支援ネットワークの構築

(回) (件)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会行事	※その他	運営推 進会議	合計	(参考) 地域密着型 サービス事 業所数	※その他
あさひ	8	2	8	3	1	39	61	11	地域福祉コーディネーター設置モデル地区事業
こん	4	19	6	16	9	85	139	22	圏域内小学校行事, 道南勤医協友の会, 町会役員会等
厚生院	5	0	1	0	0	84	90	17	
西堀	21	1	4	1	5	90	122	23	交流サロン, 特別調整連絡協議会, 家事関係機関との連絡協議 会, 認知症地域支援推進員ネットワーク会議等
よろこび	3	0	1	1	0	43	48	11	
社協	6	5	0	0	26	25	62	7	東部保健事務所, 保健医療福祉連携会議
合計	47	27	20	21	41	366	522	91	



(参考) 地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

センター名	開催回数	民生委員	町会役員	在宅福祉
あさひ	8	46	36	1
こん	12	25	33	7
厚生院	22	60	92	10
西堀	27	116	30	51
よろこび	6	23	2	1
社協	4	3	28	0
合計	79	273	221	70

・どのセンターも大きく占めているのが、地域密着型サービス事業所の運営推進会議である。

・「あさひ」「こん」がふれあい事業や町会行事への参加が多い。特に「こん」は、町会の餅つき大会、夏祭り会場の準備ボランティアなど積極的に関わり、それを通して関係性を築いている。その他のセンターにおいても、ごみ拾いなどの町会行事への参加もしている。

・また、「西堀」の懇談会は町会や老人クラブとの懇談(地域課題について意見交換等)が多く、積極的に地区組織活動に関わっていることがうかがえる。

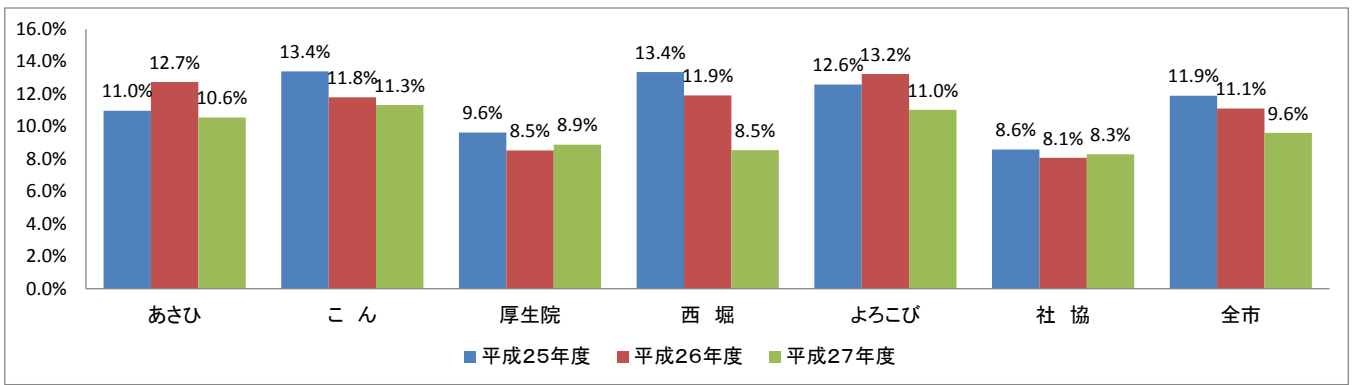
・その他、地域ケア会議の参集者をみると、どのセンターも民生委員とは連携を図っていることがわかる。「よろこび」については、町会との連携を強化する必要がある。

・集計数には計上されていないが、広報紙の配布に関しては、町会をはじめとする関係機関へ依頼をする際に、手渡しをしているセンターが多く、顔の見える関係を意識し積極的に地域に向いている。

2 実態把握

(1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

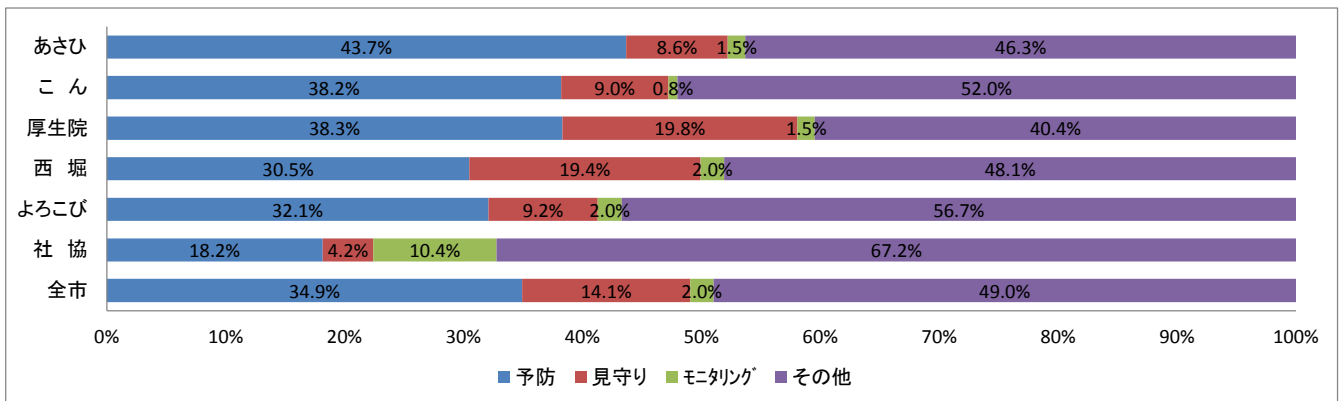
センター名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		(参考) H28.3.31								
	把握数 (人)	把握率	把握数 (人)	把握率	把握数 (人)	把握率	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率	要支援認定		要介護認定		予防給付	
										認定者数 (人)	認定率	認定者数 (人)	認定率	給付者数 (人)	給付率
あさひ	894	11.0%	1,054	12.7%	877	10.6%	20,499	8,308	40.5%	828	10.0%	1,313	15.8%	572	69.1%
こん	2,275	13.4%	2,040	11.8%	1,984	11.3%	51,353	17,523	34.1%	1,609	9.2%	2,659	15.2%	1,042	64.8%
厚生院	1,843	9.6%	1,680	8.5%	1,785	8.9%	56,859	20,108	35.4%	1,794	8.9%	2,841	14.1%	1,066	59.4%
西堀	3,541	13.4%	3,291	11.9%	2,434	8.5%	96,299	28,473	29.6%	2,093	7.4%	3,524	12.4%	1,306	62.4%
よろこび	821	12.6%	909	13.2%	785	11.0%	29,293	7,126	24.3%	538	7.5%	1,123	15.8%	334	62.1%
社協	430	8.6%	410	8.1%	424	8.3%	12,470	5,119	41.1%	317	6.2%	683	13.3%	145	45.7%
合計	9,804	11.9%	9,384	11.1%	8,289	9.6%	266,773	86,657	32.5%	7,179	8.3%	12,143	14.0%	4,465	62.2%



(2) 項目別内訳

(人)

センター名	平成27年度実態把握数(A)					介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D+E/A)	再掲:その他 (E/A)	計画数値に対する達成率			
	予防 (B)	見守り (C)	モニタリング (D)	その他 (E)	全体				地域支援事業			
					計画数値				達成率	計画数値	達成率	
あさひ	877	383	75	13	406	43.7%	56.3%	46.3%	968	90.6%	550	88.8%
こん	1,984	758	179	15	1,032	38.2%	61.8%	52.0%	2,036	97.4%	1,215	100.9%
厚生院	1,785	684	353	26	722	38.3%	61.7%	40.4%	2,324	76.8%	1,588	69.3%
西堀	2,434	742	473	49	1,170	30.5%	69.5%	48.1%	3,270	74.4%	2,376	71.2%
よろこび	785	252	72	16	445	32.1%	67.9%	56.7%	815	96.3%	602	88.5%
社協	424	77	18	44	285	18.2%	81.8%	67.2%	594	71.4%	524	66.2%
合計	8,289	2,896	1,170	163	4,060	34.9%	65.1%	49.0%	10,007	82.8%	6,861	78.6%
構成割合	100.0%	34.9%	14.1%	2.0%	49.0%							



・実態把握の全体については、把握数、率ともに減少している。平成27年度は新年度準備にかかる業務が大きかったことから、やむを得ないとする。そのような中、課題として取り組んでいた「厚生院」については、実態把握数、率ともに増加している。また、「西堀」については、配置基準職員の欠員も実態把握数の減少に影響していると思われる。

・全体の内訳は、『地域支援事業』が65.1%。また、『その他』だけでも40%を超えている。平成26年度は『地域支援事業』61.2%、『その他』38.8%を上回っていることから、平成27年度はどのセンターも独自の地区活動や相談業務において、十分実態把握ができていると思われる。

3 総合相談

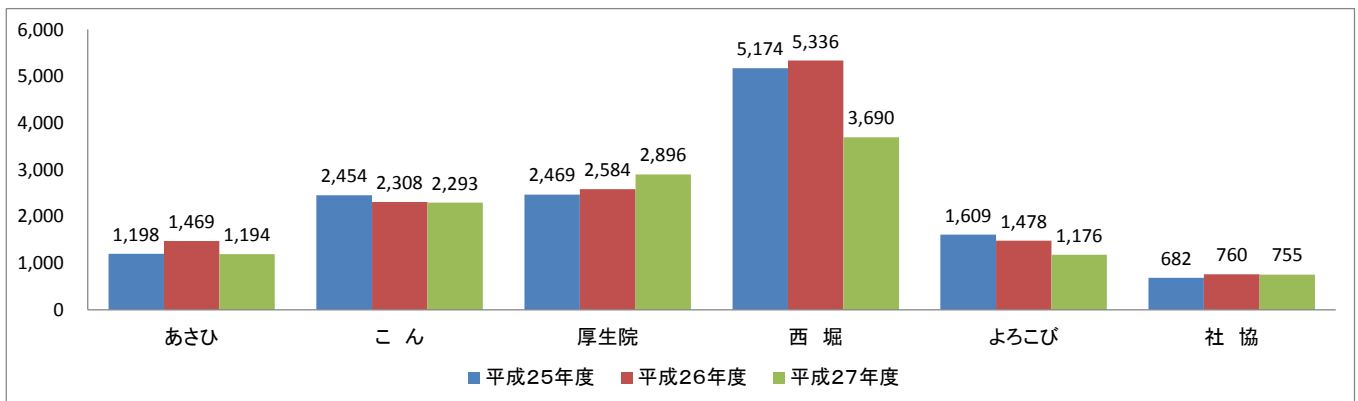
(1) 相談件数の推移

(件)

センター名	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	対象者 実件数	相談 延件数	対象者 実件数	相談 延件数	対象者 実件数	相談 延件数
あさひ	1,198	1,585	1,469	1,966	1,194	1,626
こ ん	2,454	3,056	2,308	3,020	2,293	3,288
厚生院	2,469	3,155	2,584	3,047	2,896	3,757
西 堀	5,174	6,099	5,336	6,037	3,690	4,217
よろこび	1,609	2,125	1,478	1,800	1,176	1,462
社 協	682	824	760	941	755	981
合 計	13,586	16,844	13,935	16,811	12,004	15,331
一件当たり 平均相談回数	1.24回		1.21回		1.28回	

・相談実件数はほぼ横ばい。

・平成27年度に「西堀」が大幅に減少している。相談形態内訳では、訪問件数が平成26年度に比べ約1,000件減少している。平成26年度に介護予防支援業務において、契約内容変更のため利用者全件に訪問したため、訪問件数が多くなっていたことが背景にある。

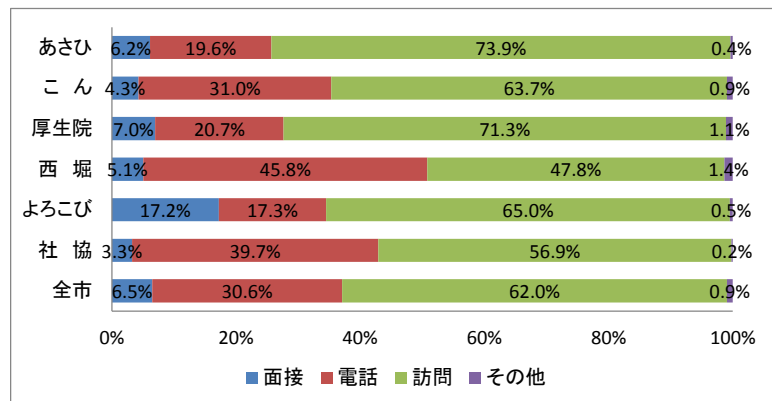


(2) 相談の内訳

① 相談形態内訳

(件)

センター名	面接	電話	訪問	その他
あさひ	100	318	1,202	6
こ ん	142	1,020	2,095	31
厚生院	263	776	2,677	41
西 堀	213	1,930	2,017	57
よろこび	252	253	950	7
社 協	32	389	558	2
合 計	1,002	4,686	9,499	144



② 相談時間帯内訳

(件)

センター名	営業時間内		営業時間外	
あさひ	1,609	99.0%	17	1.0%
こ ん	3,211	97.7%	77	2.3%
厚生院	3,715	98.9%	42	1.1%
西 堀	4,158	98.6%	59	1.4%
よろこび	1,441	98.6%	21	1.4%
社 協	981	100.0%	0	0.0%
合 計	15,115	98.6%	216	1.4%

③ 相談曜日内訳

(件)

センター名	営業日		営業日外	
あさひ	1,623	99.8%	3	0.2%
こ ん	3,249	98.8%	39	1.2%
厚生院	3,747	99.7%	10	0.3%
西 堀	4,191	99.4%	26	0.6%
よろこび	1,449	99.1%	13	0.9%
社 協	981	100.0%	0	0.0%
合 計	15,240	99.4%	91	0.6%

④ 対象者の年齢内訳 (件)

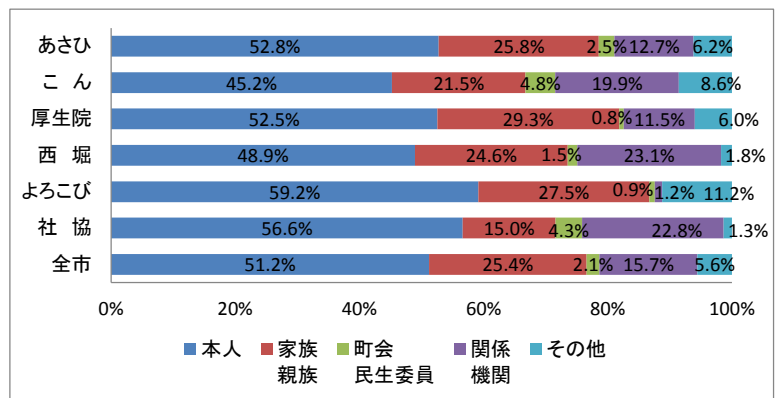
センター名	65歳未満		65歳以上	
あさひ	17	1.0%	1,177	72.4%
こ ん	70	2.1%	2,223	67.6%
厚生院	43	1.1%	2,853	75.9%
西 堀	48	1.1%	3,642	86.4%
よろこび	25	1.7%	1,151	78.7%
社 協	10	1.0%	745	75.9%
合 計	213	1.4%	11,791	76.9%

・相談者の続柄内訳については、「こん」が他センターに比べ、民生委員・町会からの相談が多い。これは地域包括支援ネットワークの構築の成果であると考えられる。

・「よろこび」は、本人、家族・親族からの相談が86.7%である。当事者が自ら相談しなければ、支援に結びつかない状況にあると言え、地域包括支援ネットワークの構築や支援対象者の掘り起しの強化が必要である。

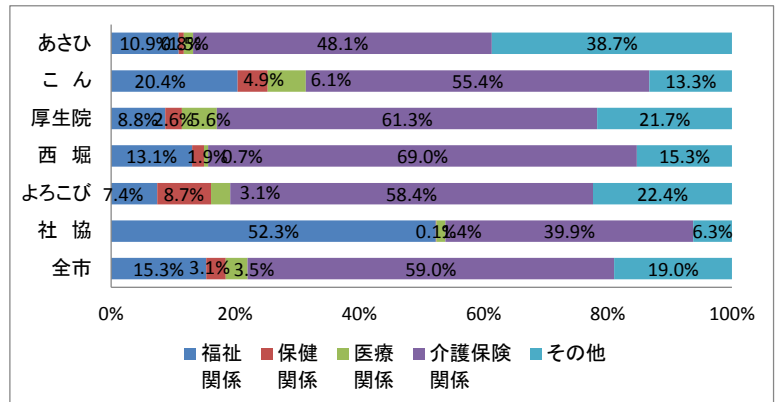
⑤ 相談者の続柄内訳(重複あり) (件)

センター名	本人	家族 親族	町会 民生委員	関係 機関	その他
あさひ	1,214	594	58	293	142
こ ん	1,487	708	158	653	282
厚生院	2,982	1,662	43	650	338
西 堀	2,570	1,292	81	1,215	93
よろこび	1,137	529	17	23	216
社 協	556	147	42	224	13
合 計	9,946	4,932	399	3,058	1,084



⑥ 相談内容内訳(重複あり) (件)

センター名	福祉 関係	保健 関係	医療 関係	介護保険 関係	その他
あさひ	180	14	25	796	640
こ ん	710	170	213	1,931	463
厚生院	360	109	232	2,521	892
西 堀	556	80	30	2,936	652
よろこび	113	132	47	890	341
社 協	544	1	15	415	65
合 計	2,463	506	562	9,489	3,053



4 保健福祉サービス等利用調整

(1) 利用調整件数の推移 (件) (2) モニタリング実施状況 (件) (3) 広報・啓発活動 (回)

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	421	366	324
こ ん	503	502	577
厚生院	353	451	452
西 堀	547	553	683
よろこび	174	213	206
社 協	280	287	290
合 計	2,278	2,372	2,532

センター名	対象者数	実施数	実施率
あさひ	26	26	100.0%
こ ん	45	45	100.0%
厚生院	44	44	100.0%
西 堀	63	63	100.0%
よろこび	17	17	100.0%
社 協	28	28	100.0%
合 計	223	223	100.0%

センター名	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣
あさひ	1	2
こ ん	15	5
厚生院	9	7
西 堀	3	4
よろこび	12	6
社 協	1	2
合 計	41	26

- ・高齢者人口の増加に伴い、利用調整件数は年々増加している。
- ・モニタリング実施状況については、どのセンターも100%であり、確実に実施できている。
- ・出前講座においても、取り上げやすいテーマであり、各センター実施できている。

5 住民に対する広報・啓発活動

(1) 広報紙発行 (回)

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	2	2	2
こ ん	4	4	2
厚生院	3	2	2
西 堀	3	3	3
よろこび	2	2	2
社 協	2	2	2
合 計	16	15	13

・出前講座・講師派遣による、広報・啓発活動の回数は、年々増加している。平成26年度の地域包括支援センター事業評価において、出前講座・講師派遣の重点テーマに「①センターについて」「②介護保険制度について」を掲げ、その実施回数を評価項目に取り入れたことが、実施回数の急増につながったと考える。

・「社協」は啓発活動の対象者の固定化が課題となっていたが、平成27年度はえさん漁業協同組合窓口担当者へ認知症サポーター養成講座を実施しており、新たな啓発活動に取り組んでいる。

※「社協」については、函館市社会福祉協議会広報誌へ記事を掲載。

(2) 出前講座・講師派遣

(3) 認知症サポーター養成講座

① センターについて (回)

② 介護保険制度について (回)

(回)

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	2	7	7
こ ん	1	8	16
厚生院	0	13	10
西 堀	3	13	12
よろこび	0	2	8
社 協	6	19	10
合 計	12	62	63

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	1	6	5
こ ん	1	8	10
厚生院	2	6	11
西 堀	2	4	6
よろこび	0	1	5
社 協	11	12	19
合 計	17	37	56

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	1	2	6
こ ん	4	4	17
厚生院	1	3	4
西 堀	4	4	6
よろこび	1	3	5
社 協	0	1	1
合 計	11	17	39

6 高齢者見守りネットワーク事業実施状況

(1) 対象町の高齢者のみ世帯数, 高齢者のみ世帯員数の推移

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
高齢者のみ 世帯数	平成25年度	316	689	792	1,088	445	269	3,599
	平成26年度	500	850	988	1,716	552	257	4,863
	平成27年度	334	1,021	1,166	1,293	255	384	4,453
	合 計	1,150	2,560	2,946	4,097	1,252	910	12,915
高齢者のみ 世帯数	平成25年度	640	1,383	1,594	2,183	893	543	7,236
	平成26年度	1,006	1,712	1,987	3,442	1,111	524	9,782
	平成27年度	671	2,058	2,344	2,598	514	766	8,951
	合 計	2,317	5,153	5,925	8,223	2,518	1,833	25,969

(2) 実態把握対象者数

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
世帯数	平成25年度	85 (26.9%)	343 (49.8%)	438 (55.3%)	680 (62.5%)	89 (20.0%)	58 (21.6%)	1,693 (47.0%)
	平成26年度	212 (42.4%)	271 (31.9%)	574 (58.1%)	961 (56.0%)	169 (30.6%)	17 (6.6%)	2,204 (45.3%)
	平成27年度	92 (27.5%)	388 (38.0%)	735 (63.0%)	596 (46.1%)	66 (25.9%)	12 (3.1%)	1,889 (42.4%)
	合 計	389 (33.8%)	1,002 (39.1%)	1,747 (59.3%)	2,237 (54.6%)	324 (25.9%)	87 (9.6%)	5,786 (44.8%)
対象者数	平成25年度	169 (26.4%)	678 (49.0%)	869 (54.5%)	1,333 (61.1%)	177 (19.8%)	114 (21.0%)	3,340 (46.2%)
	平成26年度	420 (41.7%)	537 (31.4%)	1,136 (57.2%)	1,900 (55.2%)	339 (30.5%)	36 (6.9%)	4,368 (44.7%)
	平成27年度	183 (27.3%)	768 (37.3%)	1,459 (62.2%)	1,180 (45.4%)	133 (25.9%)	21 (2.7%)	3,744 (41.8%)
	合 計	772 (33.3%)	1,983 (38.5%)	3,464 (58.5%)	4,413 (53.7%)	649 (25.8%)	171 (9.3%)	11,452 (44.1%)

・高齢者のみ世帯の世帯員数のうち実態把握対象者となったものの割合は、全体では44.1%であるが、センターにより9.3%から58.5%と開きがある。何らかの情報があつた場合に対象外としているセンターや、あきらかに活動が多い世帯であることが確認できた場合のみ対象外としているセンターもある。対象者の選定方法について、平成29年度以降の高齢者見守りネットワーク事業の実施においては、対象者の選定方法について、改めて検討し、センター間での共有を図る必要がある。

(3) 実態把握実施者数

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
世帯数	平成25年度	62 (72.9%)	124 (36.2%)	116 (26.5%)	424 (62.4%)	36 (40.4%)	49 (84.5%)	811 (47.9%)
	平成26年度	104 (49.1%)	76 (28.0%)	96 (16.7%)	513 (53.4%)	48 (28.4%)	16 (94.1%)	853 (38.7%)
	平成27年度	41 (44.6%)	105 (27.1%)	205 (27.9%)	291 (48.8%)	19 (28.8%)	11 (91.7%)	672 (35.6%)
	合 計	207 (53.2%)	305 (30.4%)	417 (23.9%)	1,228 (54.9%)	103 (31.8%)	76 (87.4%)	2,336 (40.4%)
実施者数	平成25年度	108 (63.9%)	236 (34.8%)	215 (24.7%)	706 (53.0%)	70 (39.5%)	97 (85.1%)	1,432 (42.9%)
	平成26年度	186 (44.3%)	131 (24.4%)	183 (16.1%)	827 (43.5%)	94 (27.7%)	32 (88.9%)	1,453 (33.3%)
	平成27年度	66 (36.1%)	191 (24.9%)	376 (25.8%)	465 (39.4%)	36 (27.1%)	19 (90.5%)	1,153 (30.8%)
	合 計	360 (46.6%)	558 (28.1%)	774 (22.3%)	1,998 (45.3%)	200 (30.8%)	148 (86.5%)	4,038 (35.3%)

(4) 実態把握未実施者数

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
世帯数	平成25年度	23 (27.1%)	219 (63.8%)	322 (73.5%)	256 (37.6%)	53 (59.6%)	9 (15.5%)	882 (52.1%)
	平成26年度	108 (50.9%)	195 (72.0%)	478 (83.3%)	448 (46.6%)	121 (71.6%)	1 (5.9%)	1,351 (61.3%)
	平成27年度	51 (55.4%)	283 (72.9%)	529 (72.0%)	305 (51.2%)	47 (71.2%)	1 (8.3%)	1,216 (64.4%)
	合 計	182 (46.8%)	697 (69.6%)	1,329 (76.1%)	1,009 (45.1%)	221 (68.2%)	11 (12.6%)	3,449 (59.6%)
実施者数	平成25年度	61 (36.1%)	442 (65.2%)	654 (75.3%)	627 (47.0%)	107 (60.5%)	17 (14.9%)	1,908 (57.1%)
	平成26年度	234 (55.7%)	406 (75.6%)	953 (83.9%)	1,073 (56.5%)	245 (72.3%)	4 (11.1%)	2,915 (66.7%)
	平成27年度	117 (63.9%)	577 (75.1%)	1,083 (74.2%)	715 (60.6%)	97 (72.9%)	2 (9.5%)	2,591 (69.2%)
	合 計	412 (53.4%)	1,425 (71.9%)	2,690 (77.7%)	2,415 (54.7%)	449 (69.2%)	23 (13.5%)	7,414 (64.7%)

2. 実態把握集計結果(平成25～27年度累計)

(1) 実態把握対象外となった高齢者の状況

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
高齢者のみ世帯委員数(A)		2,317	5,153	5,925	8,223	2,518	1,833	25,969
実態把握対象外となった高齢者数(B) (B:C+D+E+F+G+H) (B/A)		1,545 (66.7%)	3,172 (61.6%)	2,462 (41.6%)	3,812 (46.4%)	1,869 (74.2%)	1,662 (90.7%)	14,522 (55.9%)
実態把握対象外の理由	サービス利用または施設入所(C) (C/A)	269 (11.6%)	556 (10.8%)	509 (8.6%)	691 (8.4%)	255 (10.1%)	134 (7.3%)	2,414 (9.3%)
	家族がサービス利用(D) (D/A)	155 (6.7%)	355 (6.9%)	312 (5.3%)	439 (5.3%)	144 (5.7%)	94 (5.1%)	1,499 (5.8%)
	在宅福祉ふれあい事業利用(E) (E/A)	49 (2.1%)	169 (3.3%)	430 (7.3%)	221 (2.7%)	46 (1.8%)	4 (0.2%)	919 (3.5%)
	民生委員、生保CW、包括の情報(F) (F/A)	1,080 (46.6%)	2,096 (40.7%)	1,213 (20.5%)	2,432 (29.6%)	1,427 (56.7%)	1,415 (77.2%)	9,663 (37.2%)
	転出・転居・死亡(G) (G/A)	13 (0.6%)	32 (0.6%)	53 (0.9%)	61 (0.7%)	11 (0.4%)	15 (0.8%)	185 (0.7%)
	調整数(H)* (H/A)	21 (0.9%)	36 (0.7%)	55 (0.9%)	32 (0.4%)	14 (0.6%)	0 (0.0%)	158 (0.6%)

*調整数とは「サービス利用または施設入所」と「在宅福祉ふれあい事業利用」で重複する数

*実態把握対象者には、「転入・住基登録なし」の高齢者も含まれることから、高齢者のみ世帯委員数(A)から実態把握対象外となった高齢者(B)を引いた数と一致しない。

・「よろこび」と「社協」では、『民生委員、生活保護CW、包括の情報』により実態把握対象外としたケースの割合が、他のセンターと比較して多くなっている。民生委員との情報交換の方法や選定方法についても、改めてセンター間で情報共有する必要がある。

(2) 実態把握実施結果

センター名		あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
見守り不要		336 (93.3%)	517 (92.7%)	761 (98.3%)	1,938 (97.0%)	194 (97.0%)	148 (100.0%)	3,894 (96.4%)
個別対応		24 (6.7%)	41 (7.3%)	13 (1.7%)	60 (3.0%)	6 (3.0%)	0 (0.0%)	144 (3.6%)
見守り決定		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計		360 (100.0%)	558 (100.0%)	774 (100.0%)	1,998 (100.0%)	200 (100.0%)	148 (100.0%)	4,038 (100.0%)

(2)見守り不要の理由

センター名	あさひ	こ ん	厚生院	西 堀	よろこび	社 協	合 計
稼 働	6 (1.8%)	44 (8.5%)	40 (5.2%)	122 (6.3%)	25 (12.9%)	1 (0.7%)	238 (6.1%)
習い事等への参加	19 (5.7%)	48 (9.3%)	35 (4.6%)	63 (3.3%)	16 (8.2%)	0 (0.0%)	181 (4.6%)
親族・知人との定期的な交流	293 (87.2%)	303 (58.6%)	440 (57.7%)	1,650 (85.1%)	119 (61.3%)	138 (93.2%)	2,943 (75.6%)
世帯内での見守り	18 (5.4%)	120 (23.2%)	244 (32.0%)	99 (5.1%)	34 (17.5%)	9 (6.1%)	524 (13.5%)
そ の 他	0 (0.0%)	2 (0.4%)	3 (0.4%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.2%)
合 計	336 (100.0%)	517 (100.0%)	762 (100.0%)	1,938 (100.0%)	194 (100.0%)	148 (100.0%)	3,895 (100.0%)

【包括的支援事業】権利擁護業務

1 権利擁護相談対応状況

(1) 権利擁護業務対応状況

①権利擁護事例対応件数

(件)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※1		1件あたりの対応回数 実対応回数/対象者数			(参考) 権利擁護事例に 占める虐待事例 の割合
		(内) 虐待事例※2		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例	(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例		
あさひ	47	16	342	135	371	147	7.3	6.7	8.4	34.0%
こん	57	23	449	167	523	196	7.9	8.3	7.3	40.4%
厚生院	53	19	559	268	604	291	10.5	8.6	14.1	35.8%
西堀	75	33	892	396	960	435	11.9	11.8	12.0	44.0%
よろこび	11	7	153	98	159	100	13.9	13.8	14.0	63.6%
社協	2	1	21	7	22	7	10.5	14.0	7.0	50.0%
合計	245	99	2,416	1,071	2,639	1,176	9.9	9.2	10.8	40.4%

※1 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

※2 全てが高齢者虐待と判断した事例ではなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例のこと。

- ・1件あたりの対応回数は、高齢者虐待事例以外では9.2回であり、高齢者虐待事例では10.8回と大きく差はない。
- ・延べ対応回数をみると、複数のセンター職員での対応もみられ、ケースの状況に応じて、養護者と被虐待者の担当を分けて対応したり、担当職員の職種や経験値を考慮した対応をしているセンターもある。
- ・権利擁護事例対応の約4割が高齢者虐待疑いとしての対応となっている。

②事案別内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待	セルフ ネグレクト	成年 後見等	消費 者 被害	困難 事例	内訳(重複あり)														
						認知	知的	精神	拒否	ADL 低下	独居	家族 問題	サービス 依存	医療 問題	アル コール	薬物	経済 困窮	苦情	その他	上記 以外
あさひ	45	0	17	2	126	25	0	5	20	4	14	28	0	6	2	1	11	4	4	2
こん	60	0	23	1	182	47	1	28	13	2	24	15	0	10	0	2	21	1	8	10
厚生院	88	0	13	0	314	66	0	24	27	24	31	58	0	27	12	1	30	2	10	2
西堀	138	0	24	7	439	85	0	47	31	12	60	98	1	30	5	0	14	4	46	6
よろこび	43	0	0	3	64	3	0	4	17	1	2	23	0	0	0	0	10	1	1	2
社協	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	0
合計	376	0	77	13	1,133	226	1	108	108	43	131	226	1	73	19	4	90	12	69	22

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス 事業所	近隣 住民 知人	民生 委員	本人	家族 親族	行政	警察	不明 匿名	その他	その他の内容
あさひ	47	32	25	9	18	22	37	50	12	0	29	虐待者、医療機関従事者、弁護士、後見人、保佐人、後見人候補者、法テラス、消費者センター、長男の保護司、包括支援センター、生活保護担当職員、住宅都市施設公社、灯油配送業者
こん	57	21	13	12	4	12	17	17	14	0	12	医療機関従事者、検察庁、近隣住民、弁護士、ウィメンズネット、老人福祉センター、障害者生活支援センター
厚生院	53	25	19	23	17	28	34	12	0	0	20	医療機関従事者、消防署、住宅公社、総合振興局、障害福祉サービス相談員
西堀	75	34	1	6	0	15	30	43	40	0	14	医療機関従事者、法テラス、包括支援センター、DVセンター、薬局店長
よろこび	11	11	0	0	0	8	3	0	6	0	9	医療機関従事者
社協	2	0	4	0	0	0	2	2	0	0	0	
合計	245	123	62	50	39	85	123	124	72	0	84	

(2) 高齢者虐待対応状況(再掲)

①虐待種別の内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	ネグレクト
あさひ	16	16	18	2	4	5
こ ん	23	28	24	0	5	3
厚生院	19	36	31	0	21	0
西 堀	33	73	52	0	4	3
よろこび	7	14	19	0	10	0
社 協	1	2	0	0	0	0
合 計	99	169	144	2	44	11

②虐待者の続柄, 同居・別居状況内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待者の続柄										同居・別居				
	夫	妻	息子	娘	嫁	婿	孫	兄弟	他	不明	虐待者 と同居	虐待者 他家族 と同居	別居	他	不明
あさひ	6	1	15	2	0	0	2	0	7	0	24	0	8	0	0
こ ん	10	3	14	4	0	0	2	0	2	0	33	0	0	2	0
厚生院	15	1	16	9	0	0	2	0	6	0	36	5	4	4	0
西 堀	23	9	44	2	0	0	0	3	3	0	59	14	12	0	0
よろこび	5	0	12	2	0	1	0	0	0	0	11	0	8	0	0
社 協	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
合 計	61	14	101	19	0	1	6	3	18	0	165	19	32	6	0

③相談・通報者内訳

センター名	実件数	CM	サービス 事業所	近隣 住民 知人	民生 委員	本人	家族 親族	行政	警察	不明 匿名	その他	その他の内容
あさひ	16	17	11	0	9	12	12	29	4	0	9	医療機関従事者, 生活保護担当職員, 虐待者
こ ん	23	12	3	5	0	10	10	3	6	0	1	障害者生活支援センター
厚生院	19	17	11	5	2	14	6	6	0	0	16	消防署, 総合振興局
西 堀	33	16	0	1	0	9	10	9	36	0	8	包括支援センター, DVセンター
よろこび	7	8	0	0	0	5	1	0	6	0	5	医療機関従事者
社 協	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	
合 計	99	70	25	11	11	50	41	49	52	0	39	

・医療機関からの相談や通報が少ない。高齢者は医療の受療率が高く、定期的に通院している人が多いため、医療機関では高齢者虐待を発見できる機会が多くあると思われる。今後は医療機関とのネットワーク構築を図っていく必要がある。

2 スキルアップ対策

(1) 研修会や事例検討会 (回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	1	1	5
こ ん	2	0	2
厚生院	2	1	4
西 堀	2	0	5
よろこび	2	0	4
社 協	1	0	0
合 計	10	2	20

・センター内のものも含めてカウントしている。

・「西堀」、「よろこび」については、高齢者虐待の研修会の開催が課題であったが、平成27年度にそれぞれ1回センター内で開催できている。

・「社協」については、平成26年度に続いて参加が少ない。対応ケースは少ないが、職員のスキルアップのため外部研修への参加を促す必要がある。

3 住民等に対する広報・啓発活動 (回)

センター名	高齢者虐待防止		成年後見制度 消費者被害防止	
	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣
あさひ	1	6	8	9
こ ん	2	6	10	18
厚生院	7	5	7	5
西 堀	3	3	7	3
よろこび	9	1	10	8
社 協	2	6	3	6
合 計	24	27	45	49

・高齢者虐待防止に関する出前講座・講師派遣は「よろこび」が1回であったが、その他のセンターは複数回実施できている。特に「厚生院」は平成27年度の課題として取り組んでいたことから、実施回数が増えている。

【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

(1) ケアプラン指導研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	開催場所	内容	参加者数
平成27年8月8日(土) 13:00~17:15	函館大学	函館大学	講演:主任介護支援専門員等スキルアップ研修 ~いまさら聞けない主任介護支援専門員のスキルとは~ 講師:北海道主任介護支援専門員講師 認定ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会 理事 佐藤 珠美 氏	103人
平成27年11月14日(土) 10:00~12:00	函館大学	函館大学	講演:家族理解と家族支援についての学び 講師:居宅あったかプランとうべつ 管理者 木村 晃子 氏	168人

(2) ケアプラン指導研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
あさひ	平成27年10月19日	総合在宅ケアセンターあさひ	事例検討会・懇談会 野中式事例検討会を通じてアセスメントの視点を学ぶ	22人	8事業所
	平成27年11月18日*	明和園	懇談会 ケアマネかふえ「これって虐待?」	48人	13事業所
こん	平成27年11月18日*	明和園	懇談会 ケアマネかふえ「これって虐待?」	48人	15事業所
	平成28年1月20日	コミュニティーホールこん	事例検討会 介護保険・障害福祉・生活保護の複数の制度が絡み合う利用について	33人	12事業所
	平成28年2月24日	コミュニティーホールこん	事例検討会 高齢者夫婦, 知的障害のある娘, 3人の生活を支えるために	43人	12事業所
厚生院	平成27年8月11日	ケアタウン昭里	事例検討会・懇談会 本人, 介護者の理解力が乏しくサービスの見直しに繋がられない事例	45人	12事業所
	平成28年2月17日	ポリテクセンター	懇談会・研修会 高齢者虐待について, アンケート集計から包括の取り組みを考える	47人	15事業所
西堀	平成27年7月15日	西堀病院	事例検討会・懇談会 妄想が強いための夫の死が理解できず, 年金などの必要な手続きが自分では困難なケース	37人	11事業所
	平成27年12月10日	西堀病院	事例検討会・懇談会 精神疾患を患う家族と暮らす高齢者の支援について	37人	12事業所
よろこび	平成27年11月13日	介護療養型老人保健施設喜郷	懇談会 包括と居宅の距離感を縮めて顔の見える関係づくりと包括について	34人	13事業所
社協	平成28年3月16日	社会福祉協議会戸井支所	研修会 地域包括支援センターの機能と役割について	9人	5事業所

* あさひとこんの合同開催

・「よろこび」は, 平成26年度まで他のセンターと合同で開催していたため, 単独での開催が課題となっていたが, 今年度は単独での開催を行っている。

(3) 計画数値の達成率

	あさひ	こん	厚生院	西堀	よろこび	社協	合計
実施回数	4	5	4	4	3	3	23
計画数値	3	3	3	3	3	3	18
計画数値達成率	133.3%	166.7%	133.3%	133.3%	100.0%	100.0%	127.8%

・「あさひ」では, 居宅介護支援事業所との連携を深め, 包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築するため, ケアプラン指導研修, 介護支援専門員への個別支援の他に, 圏域内の居宅介護事業所を訪問し, 懇談を実施した。居宅介護支援事業所の特性や抱えている問題を把握できている。センターから居宅介護支援事業所への働きかけが不足していることが課題と捉え, 平成28年度は居宅介護支援事業との管理者等との意見交換会を企画。相互理解と連携の在り方について検討する予定。

2 介護支援専門員への個別支援

(1) 相談件数の推移

(件)

センター名	対象者数			実件数(月延)			実対応回数			延対応回数※			実対応回数/対象者数		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
あさひ	11	10	9	11	10	12	15	24	39	16	31	40	1.4	2.4	4.3
こ ん	27	30	18	38	42	21	119	148	112	123	155	123	4.4	4.9	6.2
厚生院	9	11	17	19	32	24	54	101	73	60	101	91	6.0	9.2	4.3
西 堀	14	16	17	20	18	19	35	78	97	35	79	97	2.5	4.9	5.7
よろこび	10	7	9	11	11	23	57	51	94	57	51	94	5.7	7.3	10.4
社 協	1	1	2	1	1	3	10	19	19	10	19	19	10.0	19.0	9.5
合 計	72	75	72	100	114	102	290	421	434	301	436	464	4.0	5.6	6.0

※複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

・全体の支援対象者数は横ばい。「こん」の対象者数が前年度に比べ大幅に減少している。その要因としては前年度の継続ケースが終結したことや、ケアマネから相談があっても、権利擁護や困難事例でありケアマネ支援の件数として計上していない事案が多かったことが挙げられている。

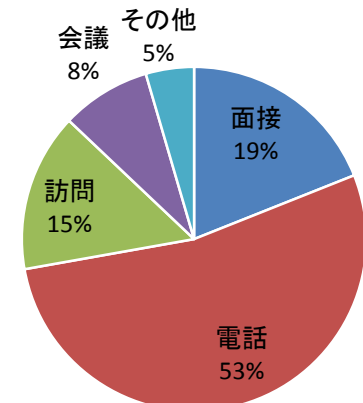
・98事業所(H28.3.1現在)のうち、平成27年度に個別支援を受けた事業所は45事業所(46%)である。新たに開設している事業所もあることから、個別支援についての周知を積極的に行う必要があると考えられる。

(2) 相談形態別内訳

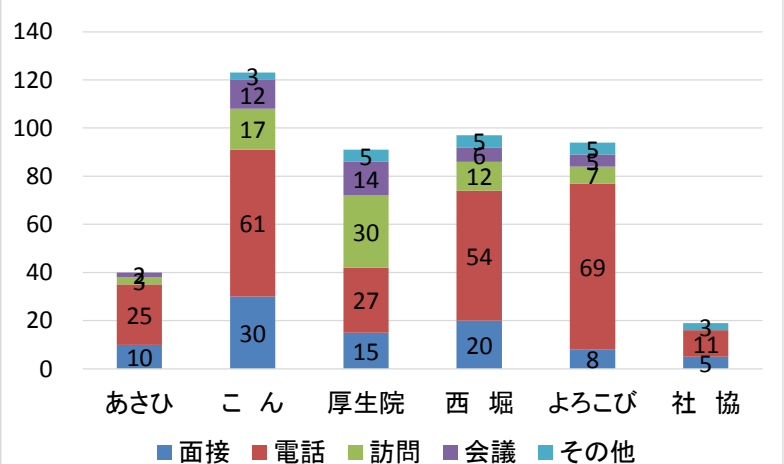
(件)

センター名	対象者数	実対応件数					延対応件数				
		面接	電話	訪問	会議	その他	面接	電話	訪問	会議	その他
あさひ	9	10	24	3	2	0	10	25	3	2	0
こ ん	18	25	57	15	12	3	30	61	17	12	3
厚生院	17	13	24	23	10	3	15	27	30	14	5
西 堀	17	20	54	12	6	5	20	54	12	6	5
よろこび	9	8	69	7	5	5	8	69	7	5	5
社 協	2	5	11	0	0	3	5	11	0	0	3
合 計	72	81	239	60	35	19	88	247	69	39	21
				434			464				

相談形態別内訳(合計・延数)



相談形態別内訳(包括別・延数)



(3) 支援事象の概要内訳

(件)

センター名	実件数	認知	精神障がい	支援拒否	ADL低下	独居	家族問題	サービス依存	医療問題	アルコール	経済困窮	苦情	その他	上記以外
あさひ	12	3	2	4	0	0	1	0	2	1	2	3	1	4
こん	21	15	3	3	2	5	9	0	2	1	1	4	0	4
厚生院	24	7	3	3	9	11	4	0	5	0	8	4	7	7
西堀	19	12	6	5	3	4	10	1	4	1	4	1	0	7
よろこび	23	2	8	6	0	0	8	0	0	6	0	1	2	4
社協	3	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	1
合計	102	40	23	21	14	21	33	1	13	9	17	14	10	27
割合		39.2%	22.5%	20.6%	13.7%	20.6%	32.4%	1.0%	12.7%	8.8%	16.7%	13.7%	9.8%	26.5%

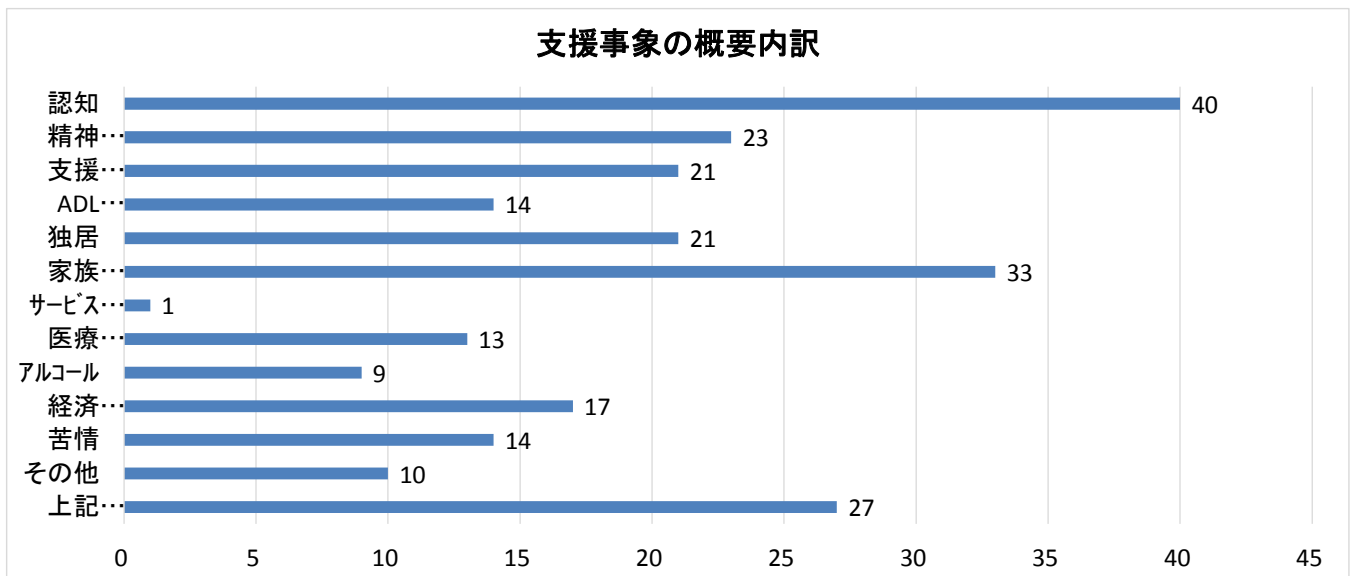
*その他の内容

不衛生な住環境（6件）、近隣トラブル（2件）、ケアマネへの暴言・暴力（1件）、サービス提供に対しての理不尽な要求や批判（1件）

*上記以外の内容

ケアマネ変更に関する相談（11件）、ケアマネや事業所と家族の関係の問題（3件）、サービスの提供内容に関する問題（3件）、

ケアマネに対する関係機関からの苦情（2件）、ケアマネの能力不足（1件）



・支援事象の概要内訳では、地域ケア会議で取り上げられるケースと同様、『認知症や精神障害(疑いを含む)』が63件、『家族問題』33件、『支援拒否』、『独居』が21件と多くなっている。

・ケアマネへの個別支援が必要となった背景について、支援事業の概要から推測することは難しいため、平成28年度からは別記第7号様式の記載内容を変更。その結果を分析し、ケアプラン指導研修等の対策へ反映していく予定となっている。

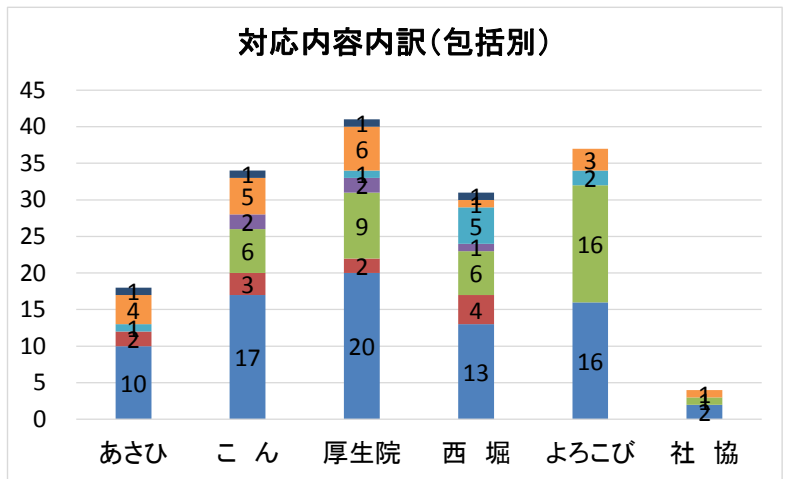
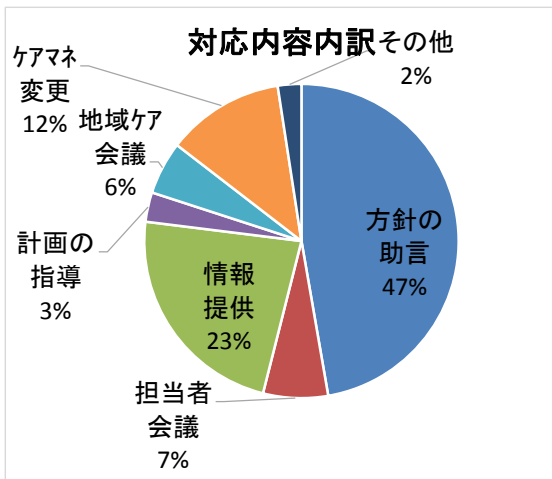
(4) 対応内容内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	方針の助言	担当者会議	情報提供	計画の指導	地域ケア会議	ケアマネ変更	その他
あさひ	12	10	2	0	0	1	4	1
こ ん	21	17	3	6	2	0	5	1
厚生院	24	20	2	9	2	1	6	1
西 堀	19	13	4	6	1	5	1	1
よろこび	23	16	0	16	0	2	3	0
社 協	3	2	0	1	0	0	1	0
合 計	102	78	11	38	5	9	20	4
割 合		76.5%	10.8%	37.3%	4.9%	8.8%	19.6%	3.9%

*その他の内訳

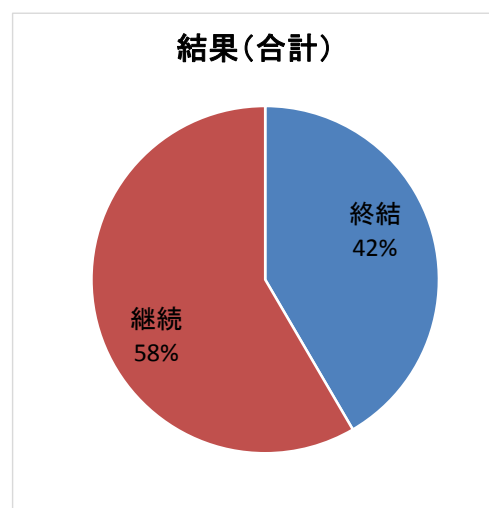
カンファレンスの開催支援・参加 (2件), ケアマネと対象者の関係修復 (1件), 家族との関わりについての支援 (1件)



(5) 結果

(件)

圏 域	対象者数	実件数	終結	継続	終結率
あさひ	9	12	8	4	88.9%
こ ん	18	21	11	10	61.1%
厚生院	17	24	10	14	58.8%
西 堀	17	19	6	13	35.3%
よろこび	9	23	7	16	77.8%
社 協	2	3	1	2	50.0%
合 計	72	102	43	59	59.7%
割 合			42.2%	57.8%	



・「よろこび」は、継続して長期間に渡り支援しているケースが多いため、他センターと比べ、終結数が少なく、継続数が多くなっている。
 ・「西堀」は、対象者数17人のうち終結が6人となっているが、実件数も少ない(継続して支援をしているわけではない)。支援の終了をケアマネジャーと共有できていないためである。

【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

1 地域ケア会議開催状況

(1) 実施回数の推移と計画数値の達成率

(回)

センター名	個別ケースの検討を行う地域ケア会議					地域課題の検討を行う地域ケア会議				
	H25年度	H26年度	H27年度	H27 計画数値	達成率	H25年度	H26年度	H27年度	H27 計画数値	達成率
あさひ	4	5	5	5	100.0%	11	2	3	2	150.0%
こん	9	11	8	11	72.7%	10	5	4	5	80.0%
厚生院	8	13	13	13	100.0%	4	8	9	6	150.0%
西堀	8	17	18	18	100.0%	15	9	9	9	100.0%
よろこび	3	4	4	4	100.0%	7	2	2	2	100.0%
社協	29	17	3	3	100.0%	4	4	1	1	100.0%
合計	61	67	51	54	94.4%	51	30	28	25	112.0%

・「社協」の個別ケースの検討を行う地域ケア会議の実施回数の減少については、当初地域ケア会議として計上していた保健医療福祉連携会議について、平成26年度下半期より、地域ケア会議と計上しなくなったためである。

・「こん」が計画数値を達成できなかった。個別ケースの検討については、実施は予定していたがケースの状況が変化し、実施できなかった。また、地域課題の検討については、準備に時間がとられ、開催までいたらなかった。

(2) 地域ケア会議が有した機能

(回)

センター名	個別ケースの検討を行う地域ケア会議				地域課題の検討を行う地域ケア会議				合計			
	個別課題 解決	ネットワーク 構築	地域課題 発見	地域づくり 資源開発	個別課題 解決	ネットワーク 構築	地域課題 発見	地域づくり 資源開発	個別課題 解決	ネットワーク 構築	地域課題 発見	地域づくり 資源開発
あさひ	5	5	2	1	0	2	3	0	5	7	5	1
こん	8	8	2	0	0	4	4	2	8	12	6	2
厚生院	13	6	12	0	0	9	9	9	13	15	21	9
西堀	18	12	15	0	0	8	8	5	18	20	23	5
よろこび	4	4	1	0	0	1	2	2	4	5	3	2
社協	3	3	0	0	0	0	1	1	3	3	1	1
合計	51	38	32	1	0	24	27	19	51	62	59	20

(3) 地域ケア会議の参集者

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計	平均従事者数
あさひ	5	1	2	6	4	1	1	5	0	2	17	39	3.2
こん	8	1	3	1	8	6	3	5	1	16	11	55	4.5
厚生院	13	1	6	4	9	5	1	6	9	13	24	78	5.0
西堀	18	1	2	3	11	2	1	14	22	15	33	104	3.6
よろこび	4	0	0	0	4	1	0	3	4	4	8	24	3.8
社協	3	0	0	0	0	0	0	4	4	9	5	22	2.7
合計	51	4	13	14	36	15	6	37	40	59	98	322	4.0

*医療機関の内訳

医師、看護師、相談員、精神保健福祉士、薬剤師、デイケア生活支援員

*行政の内訳

高齢福祉課、生活支援課、亀田福祉課、湯川福祉課、障がい保健福祉課、くらし安心課、住宅課、住宅施設公社、東部保健事務所、各支所市民福祉課、環境部環境対策課

*その他の内訳

介護保険事業所、社会福祉協議会、警察（生活安全課）、交番、法テラス、養護老人ホーム、障がいサービス事業者、薬局、郵便局、後見人、大家、友人、地域住民組織

・参集者は、『行政職員』が最も多く、次いで、『医療機関の職員』、『ケアマネジャー』、『民生委員』の順となっており、関係機関および地域福祉の担い手が主な参集者となっている。『あさひ』『こん』は医療機関からの出席が少ない。要因としては、医療未受診である（当時の支援者に医療機関がない）ケースであり、見守りが課題となったケースが多かったことが挙げられる。地域ケア会議の結果、医療につながったケースもある。

・1回あたりの包括支援センターの平均従事職員数は、2.7～5人（平均4人）となっており、今後、地域ケア会議の取組みを広めるためには、従事者数を減らし効率的な運営をできるよう工夫する必要もあると考えられる。

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計	平均従事者数
あさひ	3	0	0	0	42	35	0	0	0	0	2	79	8.7
こん	4	0	0	1	17	27	4	13	8	14	20	104	8.5
厚生院	9	0	0	0	51	87	9	58	0	17	25	247	8.2
西堀	9	0	0	0	105	28	50	9	0	6	56	254	3.7
よろこび	2	0	0	0	19	1	1	0	0	0	25	46	8.5
社協	1	0	0	0	3	28	0	0	0	2	10	43	4.0
合計	28	0	0	1	237	206	64	80	8	39	138	773	6.7

*医療機関の内訳

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

*行政の内訳

高齢福祉課、介護保険課、亀田福祉課、生活支援課、住宅課、戸井支所市民福祉課

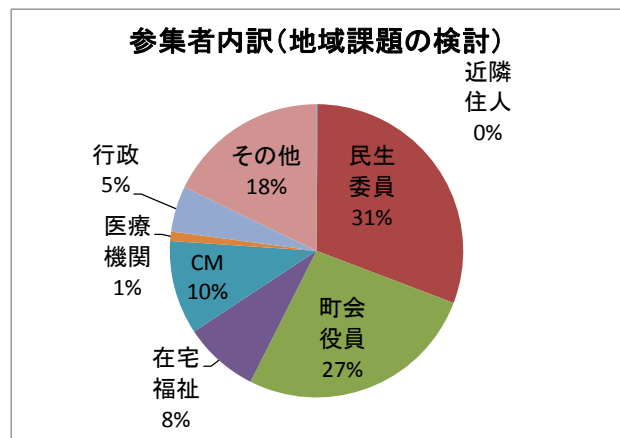
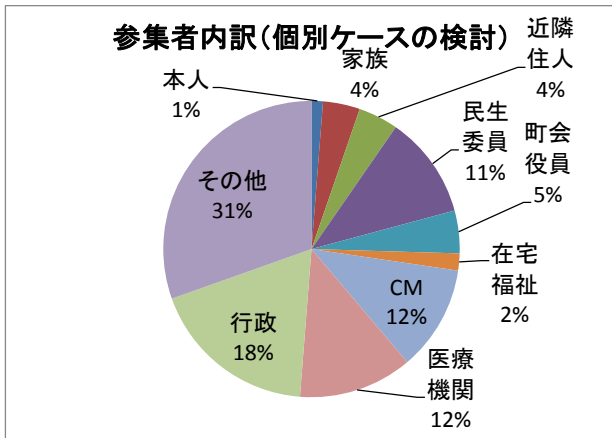
*その他の内訳

介護保険事業所、社会福祉協議会、警察（生活安全課）、法テラス、養護老人ホーム、生活支援コーディネーター、社会福祉士事務所、

在宅歯科連携室、老人クラブ、ボランティア、障がい者就労事業所、よいあすセンター、地域住民組織

・地域課題の検討を行う地域ケア会議では、民生委員、町会役員等の地域福祉の担い手が主な参集者となっている。個別ケースの課題には『健康管理についての課題』が多いが、地域課題の検討を行う地域ケア会議では、地域での見守り体制や通いの場等の地域づくりをテーマにした会議が多く、医療機関の参集については優先順位が低くなっている。医療機関を巻き込んだ地域づくりについては今後の課題である。

・1回あたりの参集者の平均は、26.0～43.0人（平均27.6人）となっており、個別ケースの検討を行う地域ケア会議に比べ参集者が多いため、1回あたりの包括支援センターの平均従事職員数も、3.7～8.7（平均6.7人）と多くなっている。



(4) 地域ケア会議で抽出された課題

① 個別ケースについての課題

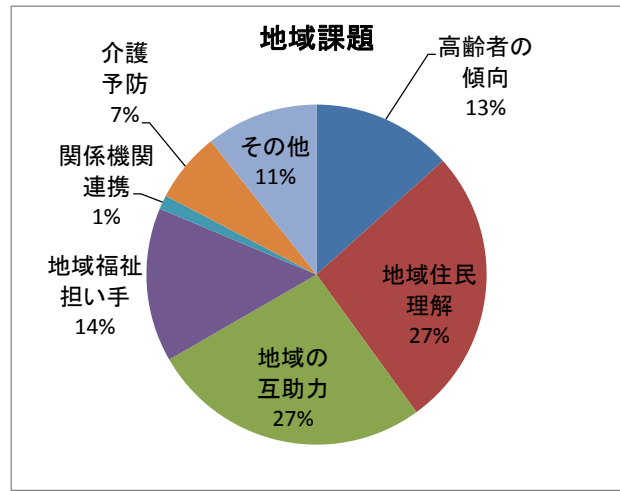
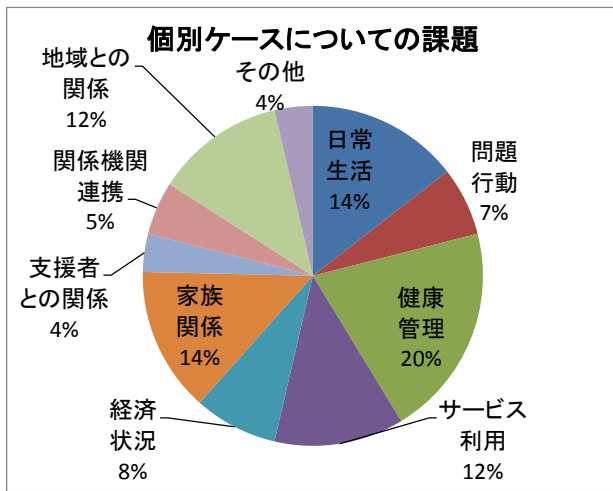
センター名	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	関係機関連携	地域との関係	その他	合計
あさひ	0	2	4	1	1	1	0	0	2	0	11
こん	2	3	2	0	2	1	0	0	5	1	16
厚生院	6	2	9	5	4	2	2	2	4	2	38
西堀	9	2	12	7	3	12	3	5	3	2	58
よろこび	2	0	1	4	0	1	0	0	3	0	11
社協	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4
合計	20	9	28	17	11	19	5	7	17	5	138

・ケースの概要としては、認知症や精神疾患(疑いも含む)、独居がほとんどであり、検討された課題としては、未受診や服薬管理が行えないなどの『健康管理についての課題』、家事や身の回りのことが行えないなどの『日常生活に関する課題』、家族の支援が受けられない等の『家族関係の課題』、不適切なサービス利用やサービス拒否等『サービスの利用に関する課題』が多かった。
 ・『健康管理に関する課題』が多いが、センターによっては医療機関の従事者の参加が少ないところもあるため、医療機関の従事者をいかに参集するかが地域ケア会議運営の課題になると思われる。
 ・高齢者本人自身の課題のみではなく、地域住民からの孤立、地域住民の偏見等、『地域との関係に関する課題』も多かった。

② 地域課題

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	介護予防	その他	合計
あさひ	0	2	2	2	0	1	0	7
こん	3	0	4	4	1	2	0	14
厚生院	2	8	7	1	0	0	5	23
西堀	4	9	4	3	0	2	2	24
よろこび	1	0	2	1	0	0	1	5
社協	0	1	1	0	0	0	0	2
合計	10	20	20	11	1	5	8	75

・抽出された地域課題(個別ケースの検討を行う地域ケア会議も含む)は、認知症等に関する『地域住民の理解』および『地域の互助力の低下』が最も多く、次いで『地域福祉の担い手に関する課題』が多かった。
 ・函館市地域ケア全体会議の実施にあたっては、地域住民や地域福祉の担い手に視点を置いた検討が必要である。



(5) 地域ケア会議で検討された解決策

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス等 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	2	2	4	1	3	3	3	0	2	0	0	0	20
こ ん	4	3	4	0	1	1	0	5	0	0	1	1	20
厚生院	2	1	5	0	0	2	4	7	4	0	0	2	27
西 堀	11	5	9	0	4	2	7	12	4	0	0	3	57
よろこび	4	2	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	11
社 協	1	0	1	0	1	2	0	1	0	1	0	0	7
合 計	24	13	25	1	9	10	14	27	11	1	1	6	142

・検討された解決策としては、サービス等調整や関係機関同士の役割分担や情報共有の方法についての検討等、関係者から高齢者への支援についての検討だけでなく、地域住民による見守りや支援体制の構築についての検討を行っている会議が多くあった。

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス等 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5
こ ん	0	0	0	1	0	0	0	1	3	1	1	1	8
厚生院	2	0	0	0	7	0	0	0	1	0	3	0	13
西 堀	0	0	0	0	2	0	0	0	3	3	2	2	12
よろこび	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	4
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	0	2	12	0	0	1	7	5	8	4	42

・抽出された地域課題として、『地域住民の理解』と『地域の互助力の低下』が多かったため、検討された解決策としても、認知症等についての『地域住民への周知』や『地域住民のネットワークの構築』が多かった。ただし、地域住民のネットワークの構築のための具体的な方法まで検討されている会議は少なく、平成28年度は、函館市地域ケア全体会議も含め、具体的な解決策の検討へと発展させる必要がある。

2 住民等に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	広報紙・パンフレットの配布
あさひ	0
こ ん	0
厚生院	1
西 堀	2
よろこび	1
社 協	0
合 計	4

【包括的支援事業】介護予防ケアマネジメント業務

1 介護予防ケアプラン作成数

(件)

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	7	27	10
こ ん	14	98	42
厚生院	72	71	129
西 堀	48	178	53
よろこび	6	14	1
社 協	0	10	0
合 計	147	398	235

【任意事業】

1 家族介護支援事業

(1) 家族介護教室開催状況

センター名	開催日時	会場	内容	参加者 (人)	計画 数値 (回)	達成率
あさひ	平成28年12月8日	栄町会館	骨粗鬆症と腰痛の講話, 健康体操	11	2	100.0%
	平成28年12月10日	大町町会館	骨粗鬆症と腰痛の講話, 健康体操	18		
こ ん	平成27年10月25日	大野農業高等学校	介護ストレスについて座談会, 相談窓口の周知	7	2	100.0%
	平成28年3月5日	救護施設説明和園	介護方法について講話と実践	24		
厚生院	平成28年3月15日	深掘町会館	認知症の基礎知識と地区の現状およびサービスについて, 成年後見制度についての講話	22	2	100.0%
	平成28年3月31日	香雪自治会館	健康診断の結果からわかること, ロコモティブシンドロームについて講話, 腰痛対策の運動実践	20		
西 堀	平成27年7月18日	西堀病院	介護技術についての講話と実践, 福祉用具や住宅改修の制度紹介	18	2	100.0%
	平成27年11月7日	西堀病院	高齢者向けの食事について講話と試食	14		
よろこび	平成27年8月21日*	老人保健施設喜郷	包括, 介護保険, 住宅改修, 福祉用具の説明, 施設食の試食	35	2	100.0%
	平成27年10月1日*	老人保健施設喜郷	包括, 介護保険, 住宅改修, 福祉用具の説明, 施設食の試食	11		
社 協	平成27年10月14日	中浜会館	認知症講話, 介護に役立つ運動, 福祉用具購入講話, 福祉用具展示と説明	41	2	150.0%
	平成27年10月15日	南茅部総合センター	認知症講話, 介護に役立つ運動, 福祉用具購入講話, 福祉用具展示と説明	20		
	平成27年10月22日	柏野会館	認知症講話, 介護に役立つ運動, 福祉用具購入講話, 福祉用具展示と説明	44		
合 計				285	12	108.3%

* 8月は桔梗町会, 10月はききょうの里自治会を対象に実施している。

(2) 住民に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	広報紙 パンフレットの配布	出前講座 講師派遣
あさひ	0	2
こ ん	10	7
厚生院	5	6
西 堀	1	1
よろこび	6	1
社 協	1	1
合 計	23	18

2 住宅改修支援事業

(1) 住宅改修支援状況

(件)

センター名	H25年度	H26年度	H27年度
あさひ	17	31	31
こ ん	49	35	19
厚生院	74	54	45
西 堀	81	67	59
よろこび	17	10	18
社 協	11	24	21
合 計	249	221	193

(2) 住民に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	0
こ ん	0
厚生院	1
西 堀	3
よろこび	0
社 協	2
合 計	6